

資料4

公益財団法人ちくご川コミュニティ財団 2026年度事業計画	
事業期間：2026年4月1日～2027年3月31日	
作成日：2026年2月28日	
I. 中長期アウトカム（事業の目的）	
社会課題解決に取り組む市民社会組織（CSO）や個人の支援及び困難を抱える個人の支援を行うことにより、筑後川関係地域（福岡県、佐賀県、大分県、熊本県）における民間公益活動の活発化を図る	
II. 短期アウトカム（2026年度の目標）	指標
1. 子ども若者支援、家庭支援をはじめとするコミュニティの課題に対し、組織基盤強化事業、環境整備事業、助成・奨学金事業を実施することにより、民間公益活動における地域の基盤を強化する（事業の柱）	①伴走支援する団体/奨学生の満足度（アンケート・ヒアリング調査） ②伴走支援する団体の組織診断スコアの変化 ③伴走支援する団体のロジックモデル整備率と内容の質
2. 公益財団法人として更なるガバナンス・コンプライアンス体制の強化ができ、地域社会から信頼されている（組織の柱①）	①規程類の運用状況を定期的に確認し、必要に応じて内容や運用について改善しているか ②ステークホルダーとの連携数/協働内容
3. 組織的なマネジメント体制が強化され、プログラムオフィサー（PO）等が専門性・伴走力を高め、支援の質が向上している（組織の柱②）	①マネジメント目標の達成割合 ②伴走支援の定義・プリンシプルが明確になっているか ③PO能力評価の値の変化
4. 休眠預金活用事業による財源確保とそれ以外の財源として、寄付収入の増加、遺贈寄付の推進、委託事業等の獲得により、財源の多様化と安定化を果たす（財源の柱）	①単一財源依存率/自主財源比率の変化 ②組織診断の「財源」スコアの変化 ③寄付者/資金提供者との関係性が良好か
III. アウトプット（アウトカムに連なる小目標）	指標
1-1. 休眠預金活用事業による子ども若者支援、家庭支援、コミュニティの持続可能性向上に関する助成、組織基盤強化、環境整備を実施している	①伴走支援団体数/団体の種類/助成額 ②奨学金給付人数/給付額 ③伴走支援する団体の関係者の量/質の変化
1-2. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、子ども若者支援、家庭支援におけるCSOの組織基盤強化、環境整備を実施している	①伴走支援団体数/団体の種類 ②伴走支援する団体の関係者の量/質の変化
1-3. 休眠預金活用事業の活動支援団体として、地域の中間支援の担い手やプログラムオフィサーの育成に寄与する	①休眠預金活用事業（活動支援団体）に採択されているか ②伴走支援する団体が選定されているか ③地域におけるPO人材について調査できているか
1-4. 独自プログラムによりコミュニティの持続可能性向上に関する助成、組織基盤強化、環境整備を実施している	①新基金が設立できているか ②新基金により助成事業がなされているか ③伴走支援団体数/団体の種類/助成額
1-5. 行政からの委託事業により、CSOの組織基盤強化事業、環境整備事業を実施している	①伴走支援団体数/団体の種類 ②伴走支援する団体の関係者の量/質の変化 ③新規の委託事業を獲得できているか
2-1. 公益財団法人として、法令や制度を遵守し、適切なガバナンス・コンプライアンス体制が整っている	①定款や規程類に基づき、評議員会、理事会が適切に実施されているか ②コンプライアンス委員会/研修会の実施状況
2-2. 規程類に基づき適切な組織運営がなされている	①公益法人に関わる法令・制度に必要な規程類を整備し、必要に応じて公開しているか ②規程類の運用状況を確認できているか

3-1. PO・バックオフィス（BO）人材が確保・育成できている	①人材の必要数に対する確保の割合 ②育成プログラムの実施状況 ③セルフマネジメント勉強会の実施回数/状況
3-2. PO・BOの連携が強化されている	①PO・BO合同のミーティング回数 ②役割分担・業務フローが明確化されているか ③業務ストレスの軽減度合い
4-1. 休眠預金活用事業（2023年度・2024年度通常枠、2024年度活動支援団体、2026年度通常枠・活動支援団体枠）による財源の確保と事業ごとの自己資金の調達ができている	①通常枠事業における自己資金の調達額 ②新規の休眠預金活用事業にて財源が確保できているか
4-2. マンスリーサポーター、基金設立により寄付収入が増加している	①寄付者数/額/種類の変化 ②マンスリーサポーターの継続率 ③新基金への寄付額
4-3. 法人寄付額が増大している	①法人への寄付についての説明・訪問回数 ②法人寄付数/額の変化
4-4. 遺贈寄付の獲得、もしくは遺贈寄付につながる案件がある	①遺贈寄付に関する相談数 ②遺贈寄付数/額の変化
4-5. 委託事業等により財源が拡大している	①委託事業の継続率 ②新規の委託事業の獲得数
IV. 活動	
1-1-1. 休眠預金活用事業 2023年度通常枠の運営	
1-1-2. 休眠預金活用事業 2024年度通常枠の運営	
1-1-3. 休眠預金活用事業 2026年度通常枠の申請	
1-2-1. 休眠預金活用事業 2024年度活動支援団体事業の運営	
1-3-1. 休眠預金活用事業 2026年度活動支援団体への申請	
1-4-1. 多様な学びの場を保障する基金による奨学金事業の運営	
1-4-2. 生田幸平・裕子基金による奨学金事業の運営	
1-4-3. クラウドファンディングによる団体助成のための新規基金の設立	
1-4-4. 新規の冠基金による助成事業の運営	
1-4-5. 新規の基金による助成事業の運営	
1-5-1. CSO向けの資金調達セミナーの実施	
1-5-2. CSOに対する個別伴走支援の実施	
2-1-1. 組織内の公益法人に関する法令、制度等の理解を深める活動の実施	
2-1-2. 公益法人としての事務・会計処理の実施	
2-2-1. 規程類の運用状況の定期的なチェック	
2-2-2. 規程類の運用に関する改善活動	
2-2-3. コンプライアンス委員会/研修の実施	
3-1-1. PO・BO人材採用のための活動	
3-1-2. PO評価プログラムの作成	
3-1-3. PO人材育成プログラムの作成	
3-2-1. マネジメント勉強会の実施	
3-2-2. セルフマネジメントについてのスタッフへの個別伴走活動	
4-1-1. 2023年度通常枠事業に関連する自己資金の調達（寄付、事業収入）	
4-1-2. 運営経費の見直しによる自己資金の捻出	
4-2-1. CCFマンスリーサポーター制度の改善に関わる活動（マンスリーファンディング）	
4-2-2. 新基金設立のためのクラウドファンディング	
4-3-1. 法人への寄付についての案内・訪問	
4-3-2. 企業版ふるさと納税に関わる活動	
4-4-1. 遺贈寄付推進のための広報活動・イベントの実施	
4-4-2. 遺贈寄付に関する土業との連携	
4-5-1. CSO支援に関する行政委託事業の情報収集・分析	
4-5-2. 新規の行政委託事業への申請	
4-5-3. 団体向けの有料の伴走支援メニューの実施	
4-5-4. 資金調達セミナー等の講師活動の実施	